

神奈川県
平塚市

6次産業化と農福連携を組み合わせることで障害者の工賃向上と新たな地域ブランドを確立。
マルシェ・バザー等にも積極的に参加し、交流人口が拡大。

基本情報

- 所在地：神奈川県平塚市
- 団体名：社会福祉法人進和学園
しんわルネッサンス
- 取組パターン：福祉完結型
- 主力商品・イベント：
自動車部品組立、農產品加工、植樹用苗の栽培等



湘南とまと工房



植樹用苗の生産

取組の概要

- 1974(昭和49)年より自動車部品車の仕事を中心に事業を展開。社会情勢の変化にあわせて作業種の多角化を推進し、農產品加工、地元スーパーでの施設外就労にも注力。
- 自社ブランド「湘南とまと工房」を立ち上げて、ジュース、ピューレ、ジャムを製造、販売。2021年にHACCPを取得。
- 障害者本人の自立・工賃向上の一環として、どんぐりや木の実から植樹用のポップ苗を栽培し苗木を各所での森林再生や緑化活動に広く活用。

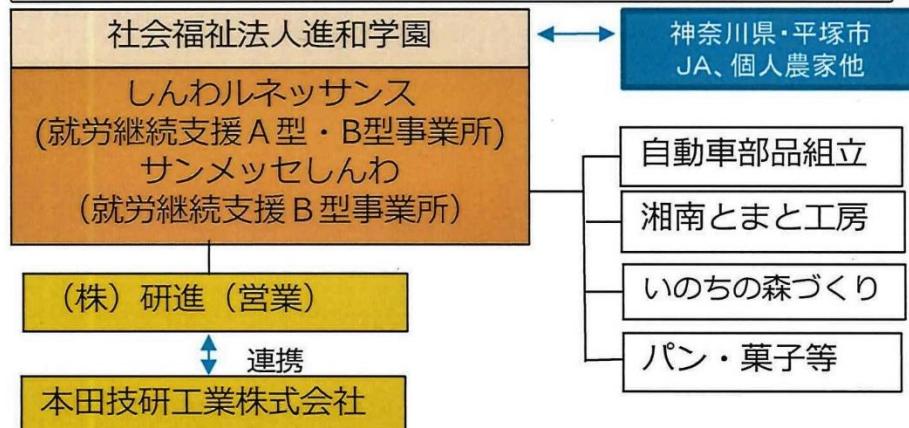


加工用トマトの下処理

加工商品のパッキング



体制図



取組の成果

- 受託加工：取組当初(2011年)の150万円から1,800万円（2020年）に拡大。
- 障害者雇用・就労：取組当初の8人から20人（2020年）に拡大。
- 波及的な成果：6次化によりJA及び個人農業者の取引先が60か所、連携する農家等からのトマトの取扱量は年間約15トンと地域農業の発展に貢献。

所在地▶〒259-1204 神奈川県平塚市上吉沢1520-1

連絡先▶TEL:0463-58-5414 E-mail : rune-selp@shinwa-gakuen.or.jp

ウェブサイト▶<http://www.shinwa-gakuen.or.jp/>

【取組のプロセス】

円高の影響による
国産部品輸出の減
少、海外サプライ
ヤーからの部品調
達の増加

規格外農産物の有
効活用

6次産業化交付金
による加工施設の
整備

2011年～

きっかけ

自動車部品の組立作業を受注してきたが、社会情勢の変化により受注が落ち込み、事業の多角化を決意
障害者の方への「良質な仕事の提供」と農業者と連携する事での地域貢献を目指した農産品加工を開始

2013年～

6次産業化総合化事業計画の認定、農産物加工施設を整備

- 地域で生産された規格外のトマトやみかん・自前の農園で栽培するブルーベリーを活用して、ジュースやジャムを製造することで障害者の雇用・就労機会を創出。
- 自社ブランド「湘南とまと工房」を立上げ、生産・販売を開始。
- 神奈川県農業技術センターOBを技術顧問として迎え、製造技術・商品開発についてアドバイスを実施。
- 摘果されたみかんを使用した「湘南みかんパン」が第4回全国逸品セレクションで準グランプリを受賞（2015年）。



2018年～

さらなる販路拡大に向けてインターネット販売を開始

- (株)研進と連携し、インターネット販売（楽天市場等）を開始。
- 地元平塚の「湘南ひらつか名産品」に認定される。また、平塚市のふるさと納税の返礼品としても活用。



2021年～

品質維持・向上を図るためHACCPを取得

- 食品衛生管理に関する勉強会等に積極的に参加。
- 製造量及び加工品目拡大のため、蒸気ボイラーを導入し、新たに設備を整備。



今後の
展望

地域社会の支援、本人の勇気、職員の努力と熱意、ボランティアの協力、家族の団結、行政の応援といったチームワークを推進

- ネットワークの交流が拡大し、平塚市・飲食業者・農協・漁協とのコラボ商品といった地域の魅力を高める商品を開発。
- 加工品としてレトルト商品を開発し、さらなる販売強化、インターネットを活用した販路拡大を実践。

